

産業建設部会報告書

各産業がスクラム組んで

魅力ある経営戦略



食の安全・安心・健康



産業建設部会

目 次

1	構成委員.....	1
2	会議の経過.....	1
3	まちづくり町民会議産業建設部会の概要.....	2
	特色ある農業について.....	2
	新規就農・農村部への移住について.....	3
	魅力ある商店街について.....	3
	雇用対策・企業誘致について.....	4
	観光・物産・イベントについて.....	4
	商工業全般について.....	5
	道路橋梁・交通について.....	6
	除排雪について.....	6
	上下水道・個別排水施設について.....	6
	住宅・宅地について.....	6
	街並み・景観について.....	7
	公園について.....	7
	産業全般について.....	7
	その他.....	8
	(1)パークゴルフについて.....	8
	(2)行財政について.....	9
	(3)まちづくり全般について.....	9

1 構成委員

産業建設部会の構成委員は次のとおりです。

氏名	住所	備考
小川 純文	幕別町字猿別 3 0 4	部会長
辻 直久	幕別町緑町 5 - 3 9	
牧野 誠	幕別町忠類本町 1 8 - 1	
三井 央一	幕別町幸町 3 1 - 1	
佐藤 忠雄	幕別町寿町 5 7	
井出 優香	幕別町錦町 1 4 1 - 1 1	
岡本 修	幕別町緑町 10 9 2	
貝出 輝	幕別町札内桂町 5 6 9 - 5 9	
坂口 惣一郎	幕別町緑町 1 番地 - 5 4	

2 会議の経過

区分	開催日	場所	テーマ
第 1 回ワーキング部会	平成 18 年 12 月 14 日	百年記念ホール	○部会に分かれて幕別の問題点・長所・短所などを洗い出す。
第 2 回ワーキング部会	平成 19 年 1 月 26 日	町民会館	○食の安全・安心 ○農業のエネルギー転換 ○特色ある農業・人材育成
第 3 回ワーキング部会	平成 19 年 2 月 27 日	パークプラザ	○商工業 ○観光・イベント ○企業誘致
第 4 回ワーキング部会	平成 19 年 3 月 13 日	パークプラザ	○地産地消 ○新規就農 ○企業の存続
第 5 回ワーキング部会	平成 19 年 3 月 27 日	パークプラザ	○協議の集約 ○報告書の作成

3 まちづくり町民会議産業建設部会の概要

【総評】

産業建設部会では、農業、商工業、観光物産、イベント、雇用対策、住宅、道路、公園など多岐に渡って検討しましたが、その中でも、特に農業問題と商店街の問題について話題が集中しました。

農業関連では、特色ある農業経営への取り組みとともに、地産地消や食の安全、環境問題への配慮などが必要とされました。

また、商店街の活性化に関しては、田舎でも成功している事例を参考に魅力ある経営手法の確立、または、消費者に必要とされる商店経営などの工夫をすることが求められるのではという意見が出されました。

更には、幕別には、特色のある食材が多くあるので、これらを利用し産業間の連携の下、魅力ある特産物、加工品の開発、PRなどを進めていくことで、道内だけでなく本州の消費者からも求められるようなブランドづくりをしていく可能性について話し合われました。詳細は次のとおりです。

特色ある農業（地産地消・食育・エネルギー利用）について

[優位的現況・長所]

- ・日本の食糧は外国と比べて基準が厳しく安全性が高い。
- ・農産物からのエタノール精製などの新エネルギー産業も注目されている。
- ・十勝の農業が自給率 1,100%となっているのも一つの自慢と言っても良い。
- ・幕別産の野菜は全国的にも有名である。（レタス、長いも、百合根）
- ・一部地域の生産者が、野菜を使用した生産物を本州に出荷していることが評価され成果を上げている。地元の農産物を使用した食料品を生産している業者もいる。幕別の農産物を評価されている。

[問題点・課題]

- ・輸入ものは残留農薬や防腐剤などの検査がずさんで信頼がおけないものも多い。
- ・基幹産業が農業と言われながら、農業単独では生きていけない現状にある。農業を取り巻く国の施策も変わっており、農業者だけでは守っていけない。
- ・幕別町産の農産物を消費者にPRする部分が足りないのでは。また、直接販売するなどの場がない。

[施策・方向性]

- ・農業自体が農協に依存しなければならないのか。個人で研修施設などを備えて屋台村へ店を出すなどしている人もいるが、そうした人材を育てて欲しい。
- ・今後 10 年間のキーワードは、安全・安心・健康となるのではないか。こうした視点での農業経営も検討が必要。
- ・バイオエタノール技術により農産物が利用されるようになっているが、あくまで農産物は食料として生産しているのであって、燃料生産のためではない。今後、農業や廃棄物を利用した新エネルギー技術が創り出されていくと思うが、あくまで農産物は食料として位置付けしていかなければならない。
- ・幕別町内での地産地消を推進し、地域の産業を増幅させていく。
- ・食育の中で、野菜が身体にどのくらい栄養があるのかを教えながら食べてもらうこ

とも必要。

- ・幕別町内の農産物を学校給食に多く使用して欲しい。
- ・グリーンツーリズムの推進。
- ・これからは、地産地消も大事だが、地元でさばける量には限界がある。体験型観光農業なども展開してはどうか。健康増進にもつながる。
- ・市街地住民に農業の理解をしてもらう、市街地と農村との距離を近づける必要がある。
- ・これからの産業は、CO₂削減を含めた環境についても、農業者・工業者として考えていくことが必要。

新規就農・農村部への移住について

[優位的現況・長所]

- ・農家宅地のみ購入して移住している人で、近所付き合いもできて特に問題のないケースも多々ある。

[問題点・課題]

- ・新規就農者が依然少ない。
- ・単なる農村部への移住希望者には、高齢化による離農の場合は宅地みの販売は可能であるが、借金や担保がかかっているなどの場合には、農地込みの販売となり、簡単に斡旋もできない。
- ・農地と宅地を単年度に販売しないと税金の控除がうまく受けられない。
- ・一部の人で、夢こがれて来たが実際には現実の厳しさにすぐになくなったり、近所付き合いもしない人がいたりするので地域に拒絶反応があることもある。

[施策・方向性]

- ・農村部で町が一定の農地や原野を開拓し、特区申請して分譲地として販売するのはいかがでしょうか。
- ・団塊世代をターゲットにした農村部の宅地造成の話が出たが、木や草をあまり切らず、道路と水道だけ整備して売る。ときには周りにパークゴルフ場をつくるなど、工夫をしては。

魅力ある商店街について

[優位的現況・長所]

- ・値段が高い、安いのではなく、困ったときに家まで来て解決してくれることの便利さを感じて、古くからの地元の商店を利用している消費者もいる。
- ・特色のある店、固定客を持っている店、小回りの利く店などはそれなりに流行っている。

[問題点・課題]

- ・旧商店街の低迷化（札内駅前、幕別駅前、忠類市街）
- ・駅前商店街は暗いイメージしか浮かばない。大手の安売り店やインターネット売買などがあり、わざわざ足を運ぶかと言うと厳しい。
- ・帯広から札内橋を渡るとまず目にする国道沿いの倒産したパチンコ店は、幕別の顔になるのに非常にイメージが悪い
- ・札内駅前商店街には、人の流れがない。店舗自体少なくなってもいるし、人も少なくなっている。買い物するときには、どうしても大型店舗へ足が向くような流れができていると思う。この流れを、地元の商店街に戻すには相当な努力が必要

- ・商店街でなければならないのか？車社会の発達、大きなショッピングモールへの需要、若物の志向、鉄道利用者の激減などで自然な流れであるので、てこ入れすることに無理が出てくる。
- ・手短に済ませるのであれば、コンビニに行ってしまう。
- ・昔と違って、駅の近隣には人が住まなく郊外に住む人が多くなっており、ドーナツ化が顕著となっている。高齢者が駅の周辺に取り残され、次世代を担う成人した子どもたちの世代が郊外に居住している現状を考えると、高齢者に活性化をやれと言うのが無理だと思う。
- ・これから家を建てる世代は、学校に近い、スーパーに近いなどを理由に居住地を選ぶが、駅に近いかどうかは関係なくなっている
- ・札内市街の国道38号は、流れが速い。脇に入って店によると言うことを嫌っている。商店に入りづらい環境にあると思う。

[施策・方向性]

- ・食に関しては、田舎でもやり方によって人を増やすことはできる。リピーターを増やすことで、商売になるのではないかと。幕別は蕎麦の産地でもあるので、そうしたことを売り物にしたら良いのではないかと。おいしい物であれば、消費者は遠くても行こうとする。
- ・幕別市街では、幕別高校の通学生を捕まえれば商売になると思うが。若い人に興味を持ってもらえるようになれば地域にお金を落としてもらえると思う。
- ・商工会のPRが消極的な部分もあるのではないかと。色々なアイデアを出して遠慮なく売り込みに行く姿勢が必要では。
- ・生協の共同購入が普及しているように、同じようなことが町内でもできないか。便利屋的な商売をやる中で、身体の具合を心配するなど新しいサービス業を展開できるのではないかと。

雇用対策・企業誘致について

[優位的現況・長所]

- ・今話題の大型店誘致の要望は多い。

[問題点・課題]

- ・既存の誘致企業は倉庫業が多く、活力が見えてこない。
- ・働く場所の確保の希望が多いというのは何とかしないとならない。
- ・今年から季節雇用者に対する一時金などが減らされるので、季節雇用者や季節雇用者を多く雇用している企業にとっては問題が大きい。早急な対策が必要

[施策・方向性]

- ・他町村では、テストコースなどが誘致されている。地盤の悪いところにも来るのだから、幕別にも誘致すべき。
- ・大型店の進出は既存の商店街がなくなりバランスが崩れる。
- ・雇用の促進が必要。特に農業
- ・雇用をつくっていくことと、雇用を減らさない努力が必要。

観光・物産・イベントについて

[優位的現況・長所]

- ・忠類の道の駅は素晴らしいので生かすべき。
- ・そり大会は特色があるので力を入れるべき。

- ・幕別夏フェスタでは花火や民間活力が素晴らしい。
- ・商工会のパークプラザでのイベントは素晴らしい。
- ・商工会等で、既存のイベントも継続して運営するのは大変だと思う。ありがたい。
- ・明野が丘スキー場の小学生無料パス支給は良いので継続を。

[問題点・課題]

- ・農業関係のイベントが少ない（朝市等）
- ・昔ながらの商店街主催のイベントがない。
- ・レジャー施設の不足
- ・ピラリなどをせっかく造っても生かされていない。サポートがない。宣伝がない。

[施策・方向性]

- ・幕別町側に道の駅を（農産物の産地直売所、特産などの展示）
- ・産業祭りは人が多く集まっている。前夜祭をやるなど盛大にやってみては。
- ・スキーリフト券の共通化
- ・エコロジーパークと幕別町観光の結びつきをつける必要がある。
- ・幕別町ダム周辺をもう少し観光や、憩いの場としての活用法を検討
- ・町営牧場は景色もいいので、観光等への活用方を検討
- ・幕別町をアピールする農産品の詰め合わせなどをつくってはどうか。
- ・そばの産地でもあり、手打ちを出来る人が沢山いるので、輪を広げ、町の特色に。例えば「そば打ちの町」
- ・町村合併で知名度が上がったのだから、もっと各（全国も含め）物産展などでアピールを
- ・水（途別川、札内川）を利用したまちづくりを

商工業全般について

[優位的現況・長所]

- ・十勝の建設業の技術力は非常に高いものがある。

[問題点・課題]

- ・帯広市の周辺3町の中で、幕別町札内市街の帯広市への就業率はかなり高いはず。仕事帰りに買い物をする、また飲食をすることにより、町内の需要が少ないことに繋がっていると思う。こうしたことから、結果として現状以上に商店または飲食店が増えないことに繋がっている。
- ・商工業者の多くは親の跡継ぎが多い。手法も親のやり方を踏襲。

[施策・方向性]

- ・商工業者の後継者対策も公募をするなど、新しい取り組みをやってみては。
- ・企業に対するアイデアや条件整備に対する援助が必要。
- ・水と緑の保全事業が下ろされ、地域で発注してやれということだが、地域ではなかなか難しい。補助金の使い方が問題。それよりも春先の公共事業がないときに簡単な土木作業を安くてもいいから発注してその間の企業の従業員の生活を確保する方がよい。
- ・幕別町民の所得の底上げのために、皆で支障のない部分で、町内調達ということ徹底できないか。ただし、努力しないところにやってしまうと、努力をしなくなる。
- ・町内企業が町外企業に勝つためには、限られた予算の中でいかによ仕事をするかという研究を企業同士でやるということが必要。そういう指導を行政もしていくべき。

道路橋梁・交通について

[優位的現況・長所]

- ・町民アンケートでは道路関係の満足度は高い。

[問題点・課題]

- ・道路工事を 1 回でできないのか。同じ場所で 2 回 3 回と繰り返している。
- ・住宅地内の歩道が凸凹が多く危険。また、電柱が歩道にあるところがあり、高齢者や障害者が歩きにくい。
- ・国道 38 号線の混雑（止若橋付近が特に）

[施策・方向性]

- ・幕別忠類間の連絡道路の整備（幕別大樹線）
- ・暁町の南北をつなぐ橋の建設
- ・緑化推進を図るため、街路樹の植樹を進める。

除排雪について

[問題点・課題]

- ・町民アンケートでも除排雪に対する不満がかなり上位を占めている。
- ・除雪の苦情の電話が多い。
- ・除雪サービスが悪いと言うが、細かくやろうとすると莫大な経費が係り、財政的なことを考えると仕方ないのでは。

[施策・方向性]

- ・除排雪については、公区単位で排雪するなどが必要では。
- ・除雪することで近隣住民と仲良くもなれるのではないか。
- ・高齢者の除雪などは、地域の中で解決するのが一番かと思う。
- ・苦情の中には説明をすればわかってもらえたり、地域やボランティアを活用すれば解決するものもあるのでは。

上下水道・個別排水施設について

[優位的現況・長所]

- ・農村の個別排水事業が補助率、整備率ともに行き届いている。
- ・上下水道の普及率は、他町村と比較しても高く満足度は高い。

住宅・宅地について

[問題点・課題]

- ・札内の土地は高い。固定資産税も高い。賃貸住宅も高い。
- ・幕別本町地区と忠類地区の住宅は不足しているが、建設をする民間業者も少ない。
- ・札内地区も最近ではアパートも空き家のところが目立つ。札内も以前のような人口流入は減ってきている。
- ・札内地区の分譲宅地も他町村に比較して価格が高く売れ行きが伸び悩んでいる。
- ・建築部門で、公営住宅など、道の基準では一般の住宅なら省略してもいい部分でも入れなければならぬ部材等があり安くはならない。道単価も諸経費を含め高い。もっと全体的に安くないか。そういう行政改革が必要。

[施策・方向性]

- ・安い土地を販売して欲しい。
- ・公営住宅はこれから住民の空き住宅を購入し、リホームしたり、リホームした住宅を売ったりというようなことを展開してはどうか。新築できる経済状態の人が少ない中では中古住宅も必要。
- ・低所得の高齢者などが入れる家賃の安い公営住宅がこれから求められる。そのためにも中古住宅を購入し、リホームして家賃が安くても採算取れる程度の住宅が必要
- ・古い公営住宅は換気システムがないため、結露がひどく、ブロック建てでも中の木の部分が腐り長持ちしない。結露に黒かび、窓付近には分厚い氷ができ、劣悪な環境になっているのが現状。古い住宅も換気システムをつけると住宅の寿命が延びるはず。
- ・旭町にまだ公営住宅が建つはずだが、超高齢化現象となっている。あそこには子どもを育てる家族連れが住めるような環境にしなければならない。学校が遠いならスクールバスを走らせるなど。

街並み・景観について

[優位的現況・長所]

- ・忠類地域の街並み・地形が素晴らしい。

[問題点・課題]

- ・3地域の市街地が分散しており遠い。(3極化)

[施策・方向性]

- ・素晴らしい景観があるので、それらを活用した街並み形成(日新の丘など)

公園について

[優位的現況・長所]

- ・幕別の公園はよく管理されている。
- ・自然環境が良好である。
- ・スマイルパークは町民の憩いの場所になった。くつろいでいる人を多く見かける。

[問題点・課題]

- ・ゴミの不法投棄
- ・公園にペットを連れてくる人のマナーが悪い。

[施策・方向性]

- ・整地した立派な公園でなく子どもが自由に遊べる草地でよい。

産業全般について

[優位的現況・長所]

- ・3農協の青年部では交流が少しずつ進んでいる。
- ・忠類では、若い世代の人の中に合併したことで忠類自体の存在感が無くなるのではと危機感を持っている人がいる。そうしたことから、青年同士(商工青年部と農協青年部など)の交流が進み盛り上げようという機運が高まっている。

[問題点・課題]

- ・農協と商工会の連携が少ない。
- ・忠類地域には若い世代が少ないが、どう地域の特色をアピールするかが課題。農協及び商工会の青年部との連携を図りながら、イベントに取り組むことで相互の交流

も図っている。今後、若い世代がどうやって地域を守れるかがポイント。

- ・幕別では青年同士の交流は無い。
- ・1.5次産業がない。
- ・今後、まちの一体感をどうつくり上げていくか。

[施策・方向性]

- ・農業を核とした各産業との連携。
- ・農協間の連携が必要
- ・産業構造の再検討（第1次産業が多い）
- ・町の企業が何かやろうとする際に、会場使用などに際して営利目的などの制約に縛られないで使用を許可することに配慮して欲しい。
- ・これからは、国と地方の税配分が変わり地方に配分される率が高くなる。従って所得の底上げのために個人や企業へのバックアップ、企業への指導が必要。今までより税収が上がることで町への跳ね返りの影響額は大きい比率を占める。
- ・商工会も農協も連携をとっていくことが大事。商工会と町商工観光課は一体であるという認識に立つことが必要。ある程度町からの財源なくしては知恵だけでは進まない。
- ・住民の協働のまちづくりも大事だが、各産業も協働のまちづくりをしていかなければならない。行政が舵取りをしていかなければならない。
- ・各産業共存共栄の精神でいくべき。
- ・農協や商工会、各企業のトップが集まって垣根を越えて互いに連携していくことや地産地消も含め、幕別のパワーアップ、底上げ対策などの会議をしてはどうか。
- ・EUが今CO2削減に取り組んでいるが、新エネルギーに対する新たな産業を育成しようという意図がある。そういうマイナスの部分をうまく利用すれば産業は育成される。
- ・環境問題を含めて新しい産業を生み出していくことを考え出せば、採算性のある産業が出てくる。

その他

(1) パークゴルフについて

- ・パークゴルフ場で商売はできないか？
- ・パークゴルフを利用して企業の宣伝などをすればよい。その経費を維持管理費に回せばよい。
- ・パークゴルフ愛好者は、時間もお金も持っている人が多いと思う。そうした人をどうやって掴むか、金を落としていってもらうか。
- ・パークゴルフ場に観光物産協会へ協力を仰ぐことはできないか。（幕別でしか食べるのでできないアイスを作るとか。）
- ・「パークゴルフ発祥の地」であることをもっとアピールしては。
- ・駅前には人は集まらないけど、パークゴルフ場には人が集まるのだから、そこともっと利用したらよいと思う。
- ・コースの中に広告看板を建て、広告費を取る。維持管理費に使用する。
- ・パークゴルフは、サービスで提供するのか、スポーツなのか。極端な話し、独立採算制とするなどの取り組みも必要では。

(2) 行財政について

- ・ここに書いてあることを全部行政がやるとしたらお金がいくらあっても足りないということがいえる。
- ・今は合併の関係で補助金や交付税が入ってきていいように見えるが、あと5年もすれば交付税も減り財政も大変になる。この10年の計画の中で、どう行政をスリム化できるかが大事。
- ・この計画をつくるに当たって、前回の計画がどういう効果があったのか、どこまでできたのかという検証、反省点必要。

(3) まちづくり全般について

- ・幕別町ではどこに力を入れているのか、特色が見えない。例えば高齢者福祉のまちであったり、教育のまちであったりというものがあるのか住民に見えない。
- ・名物となる変わった建物を建てると他町村から視察に来てそれでお金が落とされ、町の活気につながっているところがある。(風力発電のまちや家畜の糞尿をエネルギーにしているまちなども何十万人も来ている)
- ・幕別は特色のあるまちづくりが他町村から見てパークゴルフしかない。今後の10年間で何か色を出せないか。